



きらめき

学校だより 第11号
大宜味村立大宜味小学校
令和7年6月27日(金)
発行者: 校長 平良 智

「夢語るウィーク」でキャリア教育!



今週、本校のキャリア教育の1つとして「夢語るウィーク」と銘打って保護者のキャリアをお話頂く教育活動を計画しました。そこで、本校1年の保護者である「古田みち子」さんが、子供達にお話頂けるということでご協力を得ました。

実施は5、6年生を対象に、古田さんのお仕事「JICA」国際協力のこと、そして働く場であるアフリカについてとても分かりやすく、そして大変興味深くお話頂きました。

古田さんが支援している国は、アフリカのコンゴ民主共和国。国家警察民主化のお手伝いをされているそうで、まず「アフリカ」についてのイメージから子供達に尋ね、アフリカ54カ国のことからお話頂きました。一言でいうとアフリカって若い国で1960年前後に独立した国が多く、これから希望に満ちた大陸であるということ。たくさんの人が住み、いろいろな言語を話し、いろいろな宗教があり、食べ物もいろいろなものがあるなどなど、多くの多様性のある国々が集まっていることを子供達も興味深く聴き入っていました。そして、古田さんのお仕事である国際協力についてもお話頂きました。コンゴ民主共和国の国家警察をいかに組織し、国民のみなさんが安心して生活できるように、日本の警察からヒント、支援できることを伝え、自分達で考え創り出せる手助けをしているということでした。

お話の最後には、子供達に自らの海外での経験から『言葉(外国語)は後からついてくる。言葉ができないから海外には行けないよ～ではなく、自分が「伝えたいもの」を持っていることが大事。これだけは私は誰にも負けないというものをもつこと。何でもいい、自分の好きなこと、得意なことをこれから少しずつ見つけていってほしい。』と熱いメッセージを頂きました。

世界は広く、まだ見ぬものがたくさんあり、お仕事もいろいろある。夢をもってチャレンジする大切さを知る大変良い機会になりました。古田さん、どうもありがとうございました。

どうぞ、保護者・地域の皆さん、今後も大宜味の子供達に夢と希望をお伝え頂き、この子供達の将来がワクワクするような可能性を秘めていることをいっぱい語って頂きたいと思います。次の機会にも多くの方々のご協力をお願いします。多くの世界を見せてあげてください。